

平成29年度フロンティア・アドベンチャー

「やまなし少年海洋道中」事業報告

事業概要

今年で30回目という節目を迎えたフロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」は、平成29年8月1日から9日までの9日間、東京都八丈島においてキャンプ生活を実施しました。台風5号の影響を当初から受けたものの、ほぼ予定どおり無事に全日程を終えることができました。

八丈島の小中学生との交流会、漁業体験、スノーケリング、1泊2日で八丈島を巡るサバイバル踏破、昨年は実施することができなかった自主企画など、参加した50名の中学生は様々な体験活動の中で多くのことを学び、大きく成長した9日間になりました。

出発式（8月1日）



1日目。今年も出発式をむかえる直前に激しい雨が降りました。そのようななか、防災新館1階「やまなしプラザオープンスクエア」で行った出発式で、参加者代表が「山梨では経験できない海での生活を9日間にわたり八丈島で送ります。このような経験をさせてくださる方々に感謝し、50人の仲間とともに、協力し、たくさん楽しみ、そして学び、たくましく成長して帰ってきたい」という誓いの言葉でスタートしました。たくさんの見送りを背に、2台のバスは東京竹芝桟橋を目指し、係・班での最終ミーティングを行い、「橘丸」へ乗船しました。

八丈島到着（8月2日）



2日目。早朝5：00の三宅島到着に多くの参加者が跳び起きるものの、比較的穏やかな船旅であり、船に酔う参加者も少なくスタートできました。目の前に広がる壮大な海を見ながら、いよいよ八丈島底土港に着岸しました。今年も八丈町教育委員会の皆様をはじめ、多くの関係者が、私たちを迎えてくれました。歓迎セレモニー後、朝食を食べ、天候に若干の不安を抱えながらも、雨に降られることもなく垂戸のベースキャンプ(以後BC)に移動しました。

テントアップ（8月2日）



垂戸到着後、全員でのBC設営をしました。これからの生活の中心となる場所づくりをしました。どの班もボランティアリーダー（以後VL）を中心に、思い思いの場所にテントアップを行いました。以前の研修を思い出しながら、班として初めての活動を協力しながら行いました。また調理のためのかまど作りも行いました。多くの作業を予定通の時間で終わられたことは、班の大きな自信となりました。

開村式（8月2日）



テントアップ後に、八丈町教育委員会の皆様にもご参加いただき、「開村式」を行いました。それぞれの班が自分たちのこれからの生活をどうしていくか、決意を新たに誓いを立てました。岩下団長・八丈町教育委員会佐藤誠教育長の話を聞きながら、これからのキャンプ生活で、「友情」「奉仕」「連帯」「開拓」「交流」を育むこと、そしてこのやまなし少年海洋道中ででっかい体験をし、大きく成長していくことをあらためて胸に刻みました。

野外炊事（8月2日）



今年度から開村式を夕食前に行ったため、少し暗くなりはじめのなかで、八丈島に来て初めての食事作りを行いました。テントアップのときに一緒に作ったかまどを使って調理しました。初めはうまく火をおこすことができない班もありましたが、みんな一生懸命に調理したカレーはとてもおいしくて、野外炊事初日は大成功でした。どの班もおいしく食べることでできて大満足の夕食でした。

八丈島の小中学生との交流会Ⅰ（８月３日）



3日目。昨日までの天候は一転し、深夜からの強い雨音で目覚めました。午前にはBCにおいて「やまなし少年海洋道中」30周年セレモニー、八丈町小中学生との海を越えた交流会（1回目）を予定していました。急遽三根小学校体育館へ場所を変え、山下八丈町長に出席していただくなかでセレモニーを行いました。その後に行われた交流会ではアイスブレイクでお互いの緊張をほぐしました。その後は昼食会の準備をみんなで行い、和やかな雰囲気の中でゆったりとした時間を過ごすことができました。

スノーケリング1回目・星空観察の中止（8月3日）



この日の午後は、本来底土海岸へ移動し、待ちに待ったスノーケリング実習（1回目）の予定でした。しかし朝からの雨で波浪注意報もでたことから、残念ながらスノーケリング実習を中止しました。また夜に予定していた星空観察も、空一面重い雲に覆われており、星を観ることができませんでした。いくら自然相手とはいえ、とても残念でした。その代わりに、参加者は久しぶりの入浴を満喫することができました。

漁業体験活動「棒受網漁業観察」（8月4日）



4日目。この日は朝から神湊港へ移動してクルージング体験。地元の漁師さんたちの漁船に乗って勢いよく大海原へ出発！海へ出ると風がとても気持ちよく、トビウオが飛んでいる様子やウミガメの姿を間近で観ることができました。またムロアジ漁を見学させていただき、山梨では決して体験できない貴重な時間を過ごしました。

漁業体験活動「くさや工場見学・体験」（8月4日）



次に、神湊港近くにある「くさや」の工場見学をさせていただきました。工場の方から説明を受けたあと、「ムロアジをさばくグループ」と、「試食をするグループ」に分かれて活動しました。参加者のなかには、新鮮な魚をはこんになにも美味しい、ということを実感しながらとてもおいしく食べることができました。

漁協女性部の手作り料理（8月4日）



昼食は、八丈町教育委員会より底土港待合所をお借りして、神湊漁協女性部の皆さんより、島の新鮮な食材を使った手料理を振る舞っていただきました。おにぎり、魚の揚げ物、パッションフルーツなどなど。参加者は、どの料理も本当においしくいただきました。特にムロアジのメンチカツを挟んだバーガーは人気で、おかわりをして食べる参加者もいるほど絶品でした。

スノーケリング実習（8月4日）



昼食後、底土港すぐ近くの底土海岸へ移動し、待ちに待った初めてのスノーケリング実習を行いました。この日の海は比較的穏やかであり、参加者たちは初めて入る海に感動をしていました。底土海岸は透明度も高く、海中の様子も観察できました。多くの海中生物を観ることができ、大いにスノーケリングを楽しむことができました。